

「岐阜県発日本一、世界一 ~ 9月 ~」

スポーツ健康課 スポーツ振興担当

大会、競技会名 (主催者名)		成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
スノーボードFISワールドカップ カードロ大会 女子ハーフパイプ		1位	H20.9.7	中島 志保 (桃源郷クラブ)	養老町出身	1回目の41.3点が決勝点となり、3季ぶり2度目の優勝を決めた。 (ニュージーランド:カードロ)
平成20年度日本カヌーフラットウォーター レーシング選手権大会 女子カヤックシングル1000m		3位	H20.9.13	辻岡 さやか (トヨタカローラ岐阜)		4分13秒166の好記録であったが、惜しくも3位に終わった。 (石川県小松市:木場潟カヌー競技場)
平成20年度全日本社会人ライフル射撃競技 選手権大会 女子エアライフル立射40発		1位	H20.9.13	今井 尚子 (東京リーガルマインド)	済美高卒	予選の40発立射では399点で日本タイ記録。決勝の10発立射では104点 を出し、日本新となる合計503点で見事優勝を収めた。 (新潟県胎内市:新潟県立胎内ライフル射撃場)
第8回全日本新体操クラブ団体選手権 シニアの部		1位	H20.9.14	NPOぎふ新体操クラブ 浅井美彩登、野中はるな 清水花菜、横山加奈、糸川みなみ 伊藤加奈、田中澄香		熊本RGと同点となるトータル13,825点で、互いに優勝を分け合った。 (東京都渋谷区:東京体育館)
第77回日本学生陸上競技対校選手権大会						
女子400m		2位	H20.9.12	青木 沙弥佳 (福島大4年)	県岐阜商高卒	400m予選をグループ1位で通過したが、決勝で田中(福岡大)に1秒の 差をつけられ、本大会同種目3年連続の2位となった。400m障害では自 身の持つ大会新記録には及ばなかったものの、2位の田子(中央大)を かわし、3年連続貫禄のV3を達成した。また、4×400mリレーでも福島大 のアンカーとして出場し、3分39秒62で見事7連覇を達成し、福島大学の2 年連続2回目の総合優勝に大きく貢献した。 (東京都新宿区:国立競技場)
女子400m障害		1位	H20.9.14			
女子4×400mリレー		1位	H20.9.14	福島大 金田一葉可、渡邊 梓 千葉 緑、青木沙弥佳		
第63回国民体育大会(大分)						
フェンシング	少年女子 フルーレ	1位	H20.9.13	岐阜選抜 川村理紗 安田有希 大橋里衣		一回戦から決勝まで、すべて同じオーダーで、試合に臨んだ。決勝の愛 媛戦では3番手の大橋が、持ち前の粘りで延長戦を制し、見事8年ぶり5 度目の優勝に輝いた。 (大分県日田市:日田市総合体育館)
	成年男子 サーブル	1位	H20.9.15	岐阜選抜 佐久間忠 西脇一徳 長良将司		若さの佐久間、パワーの西脇、ベテランの長良がそれぞれの持ち味を生 かし、他を寄せ付けない圧倒的な強さでフェンシング王国岐阜を全国に 示した。合わせて競技別の天皇杯を獲得した。(同上)
	成年女子 エペ	3位		岐阜選抜 吹原麻美 平田京美 武山佳恵		エペ専門は武山だけという、不利な状況であったが、対戦順を変えるな ど、戦術面での工夫が功を奏し、3位決定戦では鹿児島を2-1で下した。 少年女子の快挙に加え、成年女子の奮闘により、競技別の皇后杯を獲 得した。(同上)
水泳	少年男子B 100m平泳ぎ	1位	H20.9.15	加納 雅也 (境川中3年)		50mを3位で折り返したが、その後のスパートが冴え、ゴール手前で先行 の2人をとらえ、劇的な逆転優勝を決めた。 (大分県別府市:別府市営青山プール)

大会、競技会名 (主催者名)		成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
カヌー	成年男子 スラローム・カヤックシングル	2位	H20.9.28	加藤 哲平 (丸山木材工業)		決勝ではトップに8ポイント近い大差をつけられたものの、持てる力を最大限に発揮し、3年連続となる2位を守った。 (大分県豊後大野市:リバーパーク犬飼特設カヌーコース)
	成年男子 ワイルドウォーター・カヤックシングル	1位	H20.9.29	渡辺 正浩 (トヨタカローラ岐阜)		作戦通り、前半に勝負をかけると、中間地点で2位に5秒以上の大差をつけた。そのまま後半は急流に乗り、圧倒的な速さでゴールし、見事優勝した。(同上)
新体操	少女女子総合	2位	H20.9.29	岐阜選抜 浅井美彩登、横山加奈 舩中はるな、清水花菜 糸川みなみ		前日の個人戦で2位につけ好スタートを切ったが、団体戦序盤でミスを連発。しかし、すばやく気持ちを切り替えると、立て直しに成功し、総合得点27.4187点で2位をキープした。 (大分県別府市:ピーコンプラザ)
レスリング	少年男子 フリースタイル120kg級	1位	H20.9.29	小野寺 雄大 (岐阜工高3年)		メンタル面の強化に加え、今回徹底して練習してきたタックルを武器にペースをつかむと、これまで苦手意識を持っていた相手に対しても、技が決まり準決勝から決勝まで全て2-0の無失点で悲願の優勝を決めた。 (大分県佐伯市:佐伯市総合体育館)
自転車	少年男子 1000mタイムトライアル	3位	H20.9.29	吉田 茂生 (岐南工高3年)		他の選手が雨で濡れた路面でのスタートに苦労する中、人一倍早く飛び出すと、そのまま一気にトップスピードに乗った。スタミナも持続し、1分9秒638の好タイムで3位入賞を果たした。 (大分県別府市:別府競輪場)